

12月の予定		
1	日	
2	月	㊦リズム
3	火	㊥㊦Enjoy English
4	水	㊦内科健診 (Dr.藤本) 13:45～ ㊦音楽
5	木	㊦木工教室 ㊦剣道
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	㊦YY、㊦リズム
10	火	㊦クリスマス会リハーサル③ ※写真撮影 (はいチーズ)
11	水	㊦音楽
12	木	㊦剣道
13	金	㊦劇、見せ合いっこ
14	土	㊦かのんクリスマス会
15	日	
16	月	㊦リズム
17	火	㊥㊦Enjoy English
18	水	㊦音楽、㊦運動、㊦茶道
19	木	㊦剣道
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	㊦YY、㊦リズム
24	火	㊦クリスマスクッキング
25	水	㊦音楽、㊦運動、㊦茶道
26	木	㊦年末特別保育 (要申込)
27	金	㊦年末特別保育 (要申込)
28	土	㊦年末特別保育 (要申込)
29	日	
30	月	㊦年末休暇
31	火	㊦年末休暇

1月の主な予定

1～3日 ㊦年始休暇

4・6日 ㊦年始特別保育 (要申込)

10日 (金) ㊦餅つき ㊦を見学、㊦やうた体験
㊦鏡開き集会

17日 (金) ㊦12・1月生誕生会

その他 避難訓練・身体測定

かのんだより

2019年

12月号

文：森田

師走を迎え、急に寒さも厳しくなってきましたね。早いもので2019年も残すところ1ヶ月となりました。平成から令和になり、最初は戸惑っていた年号も少しずつ聞き慣れ、使い慣れてきた感じがします。

先日のお懇談会には沢山の保護者の方にご参加頂きありがとうございました。クラス別の懇談の場では、保護者の皆様と情報交換や意見交換ができ、楽しいひと時となりました。

さて、いよいよクリスマス会が近付いてきました。皆で一つの舞台を創り上げる面白さや、自分の役割を全うする達成感を子どもたち一人一人に感じてもらえると思う良いなと思っています。

年末年始はクリスマスやお正月などの行事もあり、お出掛けする機会も増えることと思いますが、お友だちや親戚と会われたり、美味しいものを沢山食べたりと、普段の生活スタイルを維持することが難しくなる時期でもあります。外出による疲れや睡眠不足等で免疫力が低下すると、感染症にかかりやすくなりますので、無理をなさらず楽しんでいただけたらと思います。嘔吐下痢やインフルエンザなどの感染症も増えてくる時期ですので、体調管理には十分気を付けてお過ごしください。

▶ 傘 (特にビニール傘) の取り違えが多発しています！

大人用の傘の取り違えが多発しています。

ご連絡いただいている取り違えは、全てビニール傘についての取り違えです。

比較的キレイだったり、大きいサイズのビニール傘が取り違えられる傾向にあります。その代わりに、老朽化が進んでいたり、サイズの小さいビニール傘が残されている、というケースがほとんどです。中には取り違えられないよう工夫をしているビニール傘 (マスキングテープで目印をつけていたり、子どもの傘を引っ掛けて一緒にしているものなど) でも取り違えが起きていますので、園としても危惧しています。十分に気をつけていただければ幸いです。

また、これは先月号の再掲になりますが、園としても「傘の貸し出し」を始めましたので、ご利用下さい。柄部分に「かのん保育園 貸し出し用」とラベリングして、傘掛けに幾つか置いてあります。特に貸し出しや返却の際の手続きは設けませんが、利用者の善意に委ねていますので、マナーを守ってご利用下さることを願います。

▶ クリスマス会最終リハーサルと写真撮影のお知らせ (再掲・時間変更あり)

リハーサル3回目 (12/10 火) 8:45～ (15分前倒しにしました)

▷ **写真撮影**：にじ組・幼児クラスの劇の集合写真

全クラスのリハーサル風景のスナップ写真

▶ 年賀状について

今年も残すところあとわずかになりました。

新年のご挨拶として、全園児宛に年賀状を送るよう準備しています。もし年賀状の受け取りをご希望でない方は、事務室もしくは保育士・職員までお知らせください。連絡帳でのご記入でも構いません。(ご事情・理由は記入不要です)

不要の連絡をいただいた方のみ、お送りはしません。

また、宛先については、最新の緊急連絡票に届出いただいている住所にさせていただきます。違う住所にしてほしい方、住所変更をお知らせしていない方は、事務室もしくは連絡帳にてご連絡下さい。

▶ 年末年始特別保育申込みについて

▷ 休 園 日：年末年始休暇 12/29～1/3 園はお休みです。

▷ 特別保育：年末特別保育 12/26(木)～12/28(土) 保育要申込。

年始特別保育 1/4(土)・1/6(月) 保育要申込。

上記期間は特別保育となりますので、ご事情がない限り家庭保育 (お休み) のご協力をお願いします。特別保育の事前申込みの締切日は過ぎておりますが、まだご提出されていない方、また、提出からご事情の変化があった方は、お早めにご連絡ください。

▶ 大規模修繕工事が始まりました 工事期間 (予定) 12/2～2/29

▷ 11/25 に行われた入札の結果、工事業者は**大洋建設(株)**に決定いたしました。

▷ 駐車場スペースの外側3台分が、足場設置のため使用不可となります。駐車場ご利用上の送迎にあたっては、速やかに行なって下さるようご協力をお願い致します。

▷ 打ち合わせ段階では園庭利用上の制約はほとんどないとのことでしたが、資材搬入などで園庭が週単位で利用できなかったり、そもそも乳児園庭に至っては全てが使えなくなりそうな状況です。(保育園と工事業者における時間の価値観の違いと、乳児園庭についてはそもそも開園時には無かったものなので、設計上園庭と認識してすらいなかった、というのが原因です)

お散歩や室内運動プログラムを増やすなどの対応を検討しています。

▷ ご迷惑おかけして大変申し訳なく思いますが、園としても非常事態に近い状況で保育をしていきますので、リフレッシュ保育のご利用はご遠慮ください (特に午後)。

▷ 全体工程表と2週間単位での工程表をエントランスに掲示していく予定です。

▶ 運動会アンケートのご意見について一部ですが回答します。 ※紙面スペースと要約の都合上、多少表現を変えています。

▷ 体育館での開催について

→ 「園庭」と「体育館」のどちらが良いか。この点はやはりご意見分かれるところだと思います。

今年は「晴れでも雨でも体育館で行う」という初の判断をしましたが、運営側としては「最初から体育館でやるということが決まっている」という点はとてもやりやすかったです。

その理由は、①室内を想定したプログラム内容を選択できること、②直前まで天気予報と睨めっこしないで済むこと、③予め用具の運搬について運送業者を手配できること、④園庭よりも体育館内の方が広いため、子どもたちがパフォーマンスをしやすく、保護者の方も観覧しやすいこと、が挙げられます。

また、これは今後運動会を園庭で行わないと決めることができれば、の話になりますが、④（中長期的な計画において）園庭の大型遊具などの拡張・追加を視野に入れることができる、というメリットも挙げられます。

逆に、園庭で運動会を行うメリットは、①慣れ親しんでいる園内で行うことによって、子どもたちが安心感を持って取り組むことができること、②秋晴れの下で、のびのびと運動ができること、等が挙げられます。

保護者の方のご意見は分かれるところですが、「体育館の方が良い」というご意見が多かったです。また、「園庭の方が良い」とする保護者の方も「できれば園庭の方が望ましいが、体育館で運動会を行うことについても絶対に反対というわけではない」という解釈ができるようご意見書いてくださっていたと感じます。

以上のことから、「来年度以降、運動会は天候問わず、体育館で行う」こととさせていただきます。お願いします。

▷ 年長のリレーについて。距離が短く、狭そうに感じた。運動場（校庭）は使えないか？

→ 小学校のご厚意で校庭も借りられる可能性はありますが、あくまでも地域の方との共有資源であることを重視して、園としては体育館だけで行いたいと思っています。また、園の管理能力的にも、体育館と校庭の双方を借りることは難しいと考えています。

リレーのコースについては、改善できないか検討します。

▷ キャタピラリレーについて。人数が合っていないので順位が曖昧になってしまっていた。人数確認とアンカー目印（タスキなど）を取り入れるなどしてはどうか。

→ 参考にさせていただきます。プログラムのにも準備の優先順位を一番後ろにしていまいしました。準備の大切さを再認識しました。

▷ 幼児クラスのリズム体操（パプリカ）について、優先席でも見辛く感じた。

→ 見えやすいような工夫を検討しますが、リズム体操の趣旨は、好きな曲・楽しい曲で子どもたちの緊張をほぐすことを目的としていますので、保護者への発表という要素は比較的小さいかもしれません。

▷ メダルがキャラクターものであった点について。

日頃の持ち物や服装など、園からはキャラクターものはなるべく避けるように言われているので、園でもそのルールを通してほしい。

モンテッソーリ教育の一環でのキャラクター物の制限なのでは？

→ 園のルールをご理解下さり、とても嬉しいです。ありがとうございます。園がキャラクターものを（なるべく）避けるようにお願いしている趣旨を説明させていただくと、それが子どもの活動において、集中の妨げになったり、トラブルに繋がる可能性があるからです。（例えば、活動で集中している時にお友だちがキャラクターのついている服に興味を示して声をかけられたり、「このキャラクターの中でどれが一番好き？」とか、「この○○、良いでしょ〜」などといったやり取りがあったりすると、活動が途切れたり、ケンカにつながったり、物に依存した誤った自己肯定感を得てしまうことが考えられます。）

言い訳になってしまいますが、運動会のメダルをキャラクターにしたのは、上記の趣旨を外していないと判断したからで、趣旨を無視したつもりでないことは…苦しいところですがご理解いただきたいです（運動会後のお土産で全員にお渡しするという性格上、活動の妨げやトラブルにつながらない、と判断しました。……が、影響全てを考慮したとは言えませんので、配慮不足だったことは間違いありません）。

一方で、個人的には（園としてどうするかは別として）、キャラクターの魅力が子どもの意欲につながることも無視できないとも感じています（屈折したこだわりにならないような配慮はもちろん必要ですが）。例えば、私事で大変恐縮ですが、うちの長男はウルトラマンのパンツをどうしても履けるようになりたい、という意欲からオムツを卒業することができました。それが良いやり方かどうかは議論あるところかと思いますが、要は与え方と与えるタイミング、生きていく時代を取り巻く環境とのバランスなのかな、とも思います。

そうは言っても、園として間違ったメッセージを送りかねないという点を無視したことは、本当に良くなかったと思っています。

余談になりますがこれに関連して、モンテッソーリ教育の一部の場では「ファンタジーを与えない」という考えが浸透していますが、これも絶対に与えてはならないということではなくて、与えるタイミングを間違えないように、という趣旨だと私は理解しています。

もう少し踏み込んで私の理解している範囲でのお話をさせていただきますと、「子どもにはまず、現実の世界を与える」ということがモンテッソーリの本来の考え方です。その理由は、なんでも吸収する時期の子ども（特に0～3歳期）に対して、ファンタジーと現実をごちゃ混ぜに吸収させてしまうと、子どもの心と頭の中で混乱が生じてしまうからです。またこの時期の子どもは、現実に対応しようとする力があるのもすごく強く働いているので、ファンタジーよりも現実の方を本質的・感覚的に好み、欲しているからです。

「子どもは空想の世界に住んでおり、ファンタジーを与えることは想像力を養うことにつながる」という既成概念と闘うため、「ファンタジーを与えない」というモンテッソーリのメッセージの印象が強く残ってしまっていることが誤解されている原因だと感じます。「ファンタジーは絶対禁止！」というモンテッソーリ教育者を見かけることがありますが、それはあまりにもバランスを欠いていると私は感じます。「ファンタジーより先に、現実世界を優先して与えるように」というのが本質です。現実世界をきちんと認識している子に対してファンタジーを与えることは、基本的には問題ないと私は思います。

▷ 体育館の2階部分での観覧について。

O B・O G卒園児（小学生）の2階部分での観覧について、危ないと思った場面があったので、注意書を掲示するなどした方が良い。

【危険を感じた場面】

- 手すりの足元には一定間隔で足場（ブロック）があり、そこに登ると見えやすいため、足をかけて観覧している子を見かけた。
- ブロックに上がって観覧すると、ウエストラインが手すりの高さを超えてしまっている子もいて、さらには前のめりになって観覧しようとするので、非常に危険。
- 本人が落ちてしまうリスクだけでなく、持ち物（キッズケータイ等）を落とすリスクもあり得る。
- また、窓の外は柵などの落下防止策が一切とられていないので、そこも心配。

→ 大変重要な点をご指摘して下さいありがとうございます。こちらも注意は促していましたが、この点、利用方法を整理してルールを構築していきたいと思っています。

▷ 事情がある家庭には、駐車場の確保をしていただけたらありがたい（妊娠・ケガ・高齢者など）。 → 前向きに検討します。

▷ 衣装を身につけた姿で、写真を撮る時間がほしい（見本も含めて）。 → この点、なかなか良い案が出てこず申し訳ないです。実は当日もフォトスポットの計画をしていたのですが、人数・スペース・管理の都合上、無理だと判断しました。

▷ 荷物置き場があったらよかった。 → 前向きに検討します。

▷ 敬老席の数に不足を感じた。 → 状況を見て随時追加していくよう話し合っていたのですが、上手くできず申し訳ございません。

▷ 兄姉が幼児クラスの家庭にとって、キッズスペースを作っていただけると有り難いです。 → スペースの問題と衡量して検討します。

▷ スペースに限りがあるから仕方がないが、居場所がなくて困った。 → キッズスペースの問題と併せて、この点も考慮して検討していきます。

▷ 乳児クラスのかぶり物について。このクラスの年齢だと、頭にかぶるということを嫌がる子ども多いと思うので、保育時間の練習中にかぶって慣れさせるなどしてはどうか。

→ 一応、そのように練習しているのですが、嫌なものは嫌ですね。では何故かぶり物が多いのかと聞かれるならば、外へ出かける際の帽子着用のための練習という側面があります（ほとんどの場合、行事のかぶり物を嫌がる子は、園庭での帽子着用も嫌がります。行事は問題ないのですが、園庭などの場合は着用しない困るので、行事という非日常部分での練習でアプローチするというねらいです）。が、無理強いや強制はせず、子どもに寄り添いながら、適応できるよう働き掛けてまいります。